

### 1 自己評価及び外部評価結果

#### 【事業所概要(事業所記入)】

|         |                     |            |             |
|---------|---------------------|------------|-------------|
| 事業所番号   | 2172300168          |            |             |
| 法人名     | 株式会社 おあしす           |            |             |
| 事業所名    | グループホーム おあしす養老      |            |             |
| 所在地     | 岐阜県養老郡養老町京ヶ脇1609-10 |            |             |
| 自己評価作成日 | 平成23年7月10日          | 評価結果市町村受理日 | 平成23年10月14日 |

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

|          |   |
|----------|---|
| 基本情報リンク先 | <a href="http://www.kai.gokouhyou.jp/kai_gosip/info/mati.onPublic.do?JCD=2172300168&amp;SCD=320&amp;PCD=21111">http://www.kai.gokouhyou.jp/kai_gosip/info/mati.onPublic.do?JCD=2172300168&amp;SCD=320&amp;PCD=21111</a> |
|----------|---|

#### 【評価機関概要(評価機関記入)】

|       |                     |
|-------|---------------------|
| 評価機関名 | 特定非営利活動法人 旅人とたいようの会 |
| 所在地   | 岐阜県大垣市伝馬町110番地      |
| 訪問調査日 | 平成23年8月18日          |

#### 【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

スリッパのまま自由に庭へ出られるようになっており、自由で明るい雰囲気になっている。入居者一人一人の身体的精神的状態を把握し、それに対応した最善の介護サービスを提供しています。食事家庭と同じような内容で、天気の良い日は外でバーベキューなどもします。

#### 【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

理念に基づく、利用者の個別の力を活かしての支援を、管理者と職員全員が心がけている。職員は、毎日細やかに利用者を見守ることで、自分の希望や意向を伝えられなくても、視線の強さや、輝きで思いを感じとって把握できるよう努めている。管理者は、利用者や家族の急な要望にも対応に心がけ、夜間や病状の急変時、利用者と一緒に病院まで付き添うなど、既存のサービスにとられない柔軟な支援を行っている。食事の飲み込みやかみ合わせ、口腔内の衛生状態等、口腔ケアを大切に考え訪問歯科診療を受けている。職員は、利用者の希望や体調に合わせて、入浴や各種の食事形態の提供など個別に支援している。事業所の住環境を、家庭的な雰囲気でも過ごせるように、特別な飾り付けをしない日常的な空間づくりを心がけている。

### V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

| 項目   | 取り組みの成果<br>↓該当するものに○印   | 項目  | 取り組みの成果<br>↓該当するものに○印   |
|--|---|---|---|
| 56<br>職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる<br>(参考項目:23,24,25)     | <input type="radio"/> 1. ほぼ全ての利用者の<br>2. 利用者の2/3くらいの<br>3. 利用者の1/3くらいの<br>4. ほとんど掴んでいない | 63<br>職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている<br>(参考項目:9,10,19)   | <input type="radio"/> 1. ほぼ全ての家族と<br>2. 家族の2/3くらいと<br>3. 家族の1/3くらいと<br>4. ほとんどできていない    |
| 57<br>利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある<br>(参考項目:18,38)           | <input type="radio"/> 1. 毎日ある<br>2. 数日に1回程度ある<br>3. たまにある<br>4. ほとんどない                  | 64<br>通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている<br>(参考項目:2,20)                     | <input type="radio"/> 1. ほぼ毎日のように<br>2. 数日に1回程度<br>3. たまに<br>4. ほとんどない                  |
| 58<br>利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている<br>(参考項目:38)                 | <input type="radio"/> 1. ほぼ全ての利用者が<br>2. 利用者の2/3くらいが<br>3. 利用者の1/3くらいが<br>4. ほとんどいない    | 65<br>運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている<br>(参考項目:4) | <input type="radio"/> 1. 大いに増えている<br>2. 少しずつ増えている<br>3. あまり増えていない<br>4. 全くいない           |
| 59<br>利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている<br>(参考項目:36,37)   | <input type="radio"/> 1. ほぼ全ての利用者が<br>2. 利用者の2/3くらいが<br>3. 利用者の1/3くらいが<br>4. ほとんどいない    | 66<br>職員は、生き活きと働けている<br>(参考項目:11,12)                                      | <input type="radio"/> 1. ほぼ全ての職員が<br>2. 職員の2/3くらいが<br>3. 職員の1/3くらいが<br>4. ほとんどいない       |
| 60<br>利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている<br>(参考項目:49)                | <input type="radio"/> 1. ほぼ全ての利用者が<br>2. 利用者の2/3くらいが<br>3. 利用者の1/3くらいが<br>4. ほとんどいない    | 67<br>職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う                                       | <input type="radio"/> 1. ほぼ全ての利用者が<br>2. 利用者の2/3くらいが<br>3. 利用者の1/3くらいが<br>4. ほとんどいない    |
| 61<br>利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている<br>(参考項目:30,31)       | <input type="radio"/> 1. ほぼ全ての利用者が<br>2. 利用者の2/3くらいが<br>3. 利用者の1/3くらいが<br>4. ほとんどいない    | 68<br>職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う                                   | <input type="radio"/> 1. ほぼ全ての家族等が<br>2. 家族等の2/3くらいが<br>3. 家族等の1/3くらいが<br>4. ほとんどできていない |
| 62<br>利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている<br>(参考項目:28) | <input type="radio"/> 1. ほぼ全ての利用者が<br>2. 利用者の2/3くらいが<br>3. 利用者の1/3くらいが<br>4. ほとんどいない    |   |   |

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

| 自己                 | 外部  | 項目  | 自己評価  | 外部評価   |   |
|--------------------|-----|---|---|--|---|
|                    |     |   | 実践状況  | 実践状況   | 次のステップに向けて期待したい内容   |
| <b>I. 理念に基づく運営</b> |     |   |   |  |   |
| 1                  | (1) | ○理念の共有と実践<br>地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている  | 希望者はなじみの喫茶店や理髪店に希望があれば利用できるようサポートしている                                 | 管理者と職員は、理念にある、その人の個性を大切にされた個別のサービス提供を常に考え、会議で話し合っている。毎日の介護の中で、理念が実践されているか常に振り返っている。                                |   |
| 2                  | (2) | ○事業所と地域とのつきあい<br>利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している  | 町内の行事には参加しその際施設の様子等を気さくに話している   | 神社の草取り、側溝の掃除等自治会の活動に参加している。職員は、地域の人へ、散歩時に進んで挨拶をし、来訪者には湯茶をもてなすなど、近所付き合いを大切にしている。                                    |   |
| 3                  |     | ○事業所の力を活かした地域貢献<br>事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている  | 認知症状に対する接し方の相談や介護保険の相談等アドバイスすることがある                                   |  |   |
| 4                  | (3) | ○運営推進会議を活かした取り組み<br>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている                                     | 災害時等のアドバイスを生かしている   | 民生委員や区長、包括支援センターの参加があり、利用者の状況や行事の報告をしている。しかし、老人会、婦人会等地域の人々の参加は少ない。   | いろいろな人々の参加により、地域に開かれた事業所づくりを目指して欲しい。話し合いを行い、そこでの意見が、事業所運営に活かされる事を希望する。                |
| 5                  | (4) | ○市町村との連携<br>市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる  | 地域包括センターと問題点の相談等行っている   | 外部評価を受けての報告、補助金の交付についてや、介護保険情報を話し合っている。消防署に繋がる自動通報装置やスプリンクラーの設置等、利用者の安全な環境整備に共に取り組んでいる。                            |   |
| 6                  | (5) | ○身体拘束をしないケアの実践<br>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる | 外や庭には自由に出入られるようにしており拘束等も行っていない。転倒の危険がある場合等は家族に相談し、拘束等は家族の判断を仰ぐようにしている | 4点柵や車椅子ベルトの利用等、拘束について職員全員で話し合っている。玄関は昼間の施錠はなく、外出希望がいつもある利用者には一緒に出かけている。しかし、身体拘束を含め、虐待についての研修等の機会を積極的に行われているとは言えない。 | 人員体制等により、外部研修の機会を持つ困難さはあるだろうが、重要性を全員で再確認し、参加の機会を増やして欲しい。また、研修で持ち帰った情報を共有し、介護に活かして欲しい。 |
| 7                  |     | ○虐待の防止の徹底<br>管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている                                     | 日頃から言葉使いに注意し、入居者が受動的にならないよう、入居者の意思を尊重するように心がけるようにし、虐待の発生を防いでいる。       |  |   |

グループホームおあしす養老

| 自己 | 外部  | 項目   | 自己評価   | 外部評価   |                   |
|----|-----|--|--|--|-------------------|
|    |     |  | 実践状況   | 実践状況   | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 8  |     | ○権利擁護に関する制度の理解と活用<br>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している    | 必要な場合は利用できるよう心がけている                              |  |                   |
| 9  |     | ○契約に関する説明と納得<br>契約の締結、解約また改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている                         | 契約書を交わし、誤解のないよう説明している。契約書に書かれていない部分等はのつど相談を受けている |  |                   |
| 10 | (6) | ○運営に関する利用者、家族等意見の反映<br>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている                     | 要望はいつでもうけいれる態勢にある。外部へは、第三者評価からの報告を反映している         | 訪問した家族に、利用者の毎日の様子を詳しく話し、意見が言い易い雰囲気づくりを心がけている。小さな希望でも汲み取っており、介護計画や日常生活(入浴時間、手伝い)に反映させている。 |                   |
| 11 | (7) | ○運営に関する職員意見の反映<br>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている                                      | 月に一度会議を設けているがそれ以外にも意見や提案はそのつど受け入れ反映させている         | 管理者は、職員の意見を会議の他、気軽に話せる時間帯に雑談の中で聞く機会を作っている。備品の購入や利用者の対応方法、勤務の変更等に、職員の意見が反映がされている。         |                   |
| 12 |     | ○就業環境の整備<br>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがい等、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている       | 報酬以外に海外慰安旅行等も行っている                               |  |                   |
| 13 |     | ○職員を育てる取り組み<br>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている         | 必要に応じ、外部研修・月に1度の会議で行っている                         |  |                   |
| 14 |     | ○同業者との交流を通じた向上<br>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている | 養老町のグループホームと2ヶ月に一度交流を持っている                       |  |                   |

グループホームおあしす養老

| 自己                         | 外部  | 項目   | 自己評価  | 外部評価  |                   |
|----------------------------|-----|--|---|---|-------------------|
|                            |     |  | 実践状況  | 実践状況  | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| <b>Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b> |     |  |   |   |                   |
| 15                         |     | ○初期に築く本人との信頼関係<br>サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている | 入居時に本人の嗜好・性格・生活暦等を家族から聞きできるだけ最初から違和感のないよう心がけている   |   |                   |
| 16                         |     | ○初期に築く家族等との信頼関係<br>サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている            | 家族が仕事・家庭・健康面で本人をサポートできない部分はこちらで行うようにしている          |   |                   |
| 17                         |     | ○初期対応の見極めと支援<br>サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている        | 医療・歯科・リハビリ等本人が必要とするものを利用できるようにしている                |   |                   |
| 18                         |     | ○本人と共に過ごし支えあう関係<br>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている                        | 洗濯たたみ・食器ふき等できることを手伝ってもらえるような環境を作っている              |   |                   |
| 19                         |     | ○本人を共に支えあう家族との関係<br>職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている         | 何時面会に来てもらってもいいよう時間制限を設けていない。本人・家族の要望で葬式に介助したこともある |   |                   |
| 20                         | (8) | ○馴染みの人や場との関係継続の支援<br>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている                     | いきつけの喫茶店・理容店等個別に行くように心がけている                       | 利用者と親戚の家を訪問し、現状把握が困難な人は生活歴を考え葬儀への参列支援や、仏壇に参りたい人は一緒に自宅を訪れている。年賀状を取り交わしている人には、交流が継続できる支援も行っている。 |                   |
| 21                         |     | ○利用者同士の関係の支援<br>利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている                 | いつも入居者の行動や言動を把握し、お互いに良い関係が気づけるようサポートしている          |   |                   |

グループホームおあしす養老

| 自己                                 | 外部   | 項目   | 自己評価                                 | 外部評価  |                   |
|------------------------------------|------|--|--------------------------------------|---|-------------------|
|                                    |      |  | 実践状況                                 | 実践状況  | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 22                                 |      | ○関係を断ち切らない取組み<br>サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている                    | 入院の為退去して時等、その後の介護について相談にのっている        |   |                   |
| <b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b> |      |  |                                      |   |                   |
| 23                                 | (9)  | ○思いや意向の把握<br>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している   | できるだけ個々に対応した個別の要望に対応している。 外出先等       | 思いや希望は、家族からの情報(味覚や暑がり等)や、日常会話の中で意識して把握に努めている。困難な人には、今までの支援から得た経験から、目の輝きや視線、口の開き方等の変化で気持ちを推し測っている。 |                   |
| 24                                 |      | ○これまでの暮らしの把握<br>一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている                                       | 職員同士のコミュニケーションを通じ細かい情報を共有し、把握に努めている  |   |                   |
| 25                                 |      | ○暮らしの現状の把握<br>一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている   | 入居者の変化を常に注視し、いろんな試みを行っている            |   |                   |
| 26                                 | (10) | ○チームでつくる介護計画とモニタリング<br>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している | 本人の希望・家族の希望をそのつど生活の中で聞き入れ介護計画に反映している | 計画は家族、本人に希望を聞き、説明の上、作っている。職員の意見を聞いたり、入院中は医療関係者と話し合い、退院後の計画の変更に活かして、家族本人の同意を得ている。                  |                   |
| 27                                 |      | ○個別の記録と実践への反映<br>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている                        | 誰かが気づいたときはそのつど介護方法に反映している            |   |                   |
| 28                                 |      | ○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化<br>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる               | 医療・外出等計画的ではなく、そのときに応じて柔軟に対応している      |   |                   |

グループホームおあしす養老

| 自己 | 外部   | 項目  | 自己評価                                   | 外部評価   |  |
|----|------|---|--|--|--|
|    |      |   | 実践状況                                   | 実践状況   | 次のステップに向けて期待したい内容                                |
| 29 |      | ○地域資源との協働<br>一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している                                      | 選挙等希望者は投票へいけるよう介助している                  |  |  |
| 30 | (11) | ○かかりつけ医の受診支援<br>受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している                                  | できる範囲で行っている                            | 入居時に利用者、家族に説明の上、同意を得て協力医の往診を週1回受けている。眼科や歯科については家族に依頼し、職員が付き添う場合は、情報を医師に伝え結果を家族に報告している。                         |  |
| 31 |      | ○看護職との協働<br>介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している                          | 1週間に一度往診がありそのときと、必要に応じて電話等で相談している      |  |  |
| 32 |      | ○入退院時の医療機関との協働<br>利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。 | 入院時に交代で病室をのぞき情報を把握し、早期退院に向け病院と意見交換している |  |  |
| 33 | (12) | ○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援<br>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる  | 入居者それぞれの状況に応じ家族と話す機会を設けるよう心がけている       | 重度化し医療処置が伴う場合について、入居時に家族等と話し合い、方針を共有している。その上で嚥下困難な場合、きざみやとろみ食を提供し、事業所で出来る支援をしている。職員は急変時に備えAEDなど救急救命法の講習を受けている。 |  |
| 34 |      | ○急変や事故発生時の備え<br>利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている  | 心配蘇生法・心臓マッサージ等訓練を受けているが不定期である          |  |  |
| 35 | (13) | ○災害対策<br>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている  | 火災訓練を年に二度行っている                         | 火災報知器やスプリンクラーを設置し、全職員が夜間想定を含めた避難訓練を行っている。自治会等に声かけをしているが、災害対策についての地域との協力体制は、十分に構築されていない。                        | 運営推進会議や地域の集まり等、様々な機会を通じ協力を依頼し、地域住民との協力体制を築いて欲しい。 |

グループホームおあしす養老

| 自己                               | 外部   | 項目   | 自己評価   | 外部評価  |  |
|----------------------------------|------|--|--|---|--|
|                                  |      |  | 実践状況   | 実践状況  | 次のステップに向けて期待したい内容  |
| <b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b> |      |  |  |   |  |
| 36                               | (14) | ○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保<br>一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている                   | 常に丁寧な言葉で話すよう心がけている                                     | 職員は利用者の個性を大切にしている。指示的な声かけにならないために、利用者の意向を確認して介助しているか等、会議で話し合っている。居室のカメラは、利用者、家族の希望がある場合、夜間のみ使用している。 | 希望がある場合の夜間限定であっても、居室のカメラ利用を個人の尊厳やプライバシーを守る観点及びカメラに頼らない安全の確保等について、全員で話し合っ欲しい。 |
| 37                               |      | ○利用者の希望の表出や自己決定の支援<br>日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている                     | 着替えや入浴等本人に決定してもらっている                                   |   |  |
| 38                               |      | ○日々のその人らしい暮らし<br>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している | その日により外出等希望に沿えるよ心がけている                                 |   |  |
| 39                               |      | ○身だしなみやおしゃれの支援<br>その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している                                  | 髪の毛も染めている  |   |  |
| 40                               | (15) | ○食事を楽しむことのできる支援<br>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている     | 好き嫌いでメニューを変えている、朝食はごはんかパンか選択してもらっている                   | 職員は、テーブル拭き、下膳等、利用者個々の能力に合わせた支援をしている。食材から、一緒に季節感のある献立を考え、毎食作っている。ミキサー食の人には食材を説明し、食べる事が楽しみとなる工夫をしている。 |  |
| 41                               |      | ○栄養摂取や水分確保の支援<br>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている          | 食事、水分等記録をつけ変化を把握している 水分摂取が少ない方は夜個別に水筒を渡している            |   |  |
| 42                               |      | ○口腔内の清潔保持<br>口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている                   | 食後自分でできない方は介助して行っている 嚥下ができない人は定期的に歯科衛生士に口腔ケアを行ってもらっている |   |  |

グループホームおあしす養老

| 自己 | 外部   | 項目  | 自己評価  | 外部評価   |                   |
|----|------|---|---|--|-------------------|
|    |      |   | 実践状況  | 実践状況   | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 43 | (16) | ○排泄の自立支援<br>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている                              | できるだけトイレで排泄ができるよう、オムツ着用の方も3人で介助し、トイレに座ってもらう時間を設けている                   | 個別の排泄パターンを把握して、トイレ誘導しオムツやパットの利用を減らしている。重度になっても日中は3人介助でトイレ排泄を試み、10回に1回の排泄であっても、自立にむけた支援に取り組んでいる。                |                   |
| 44 |      | ○便秘の予防と対応<br>便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる  | 繊維質のおかずや牛乳等食事で便秘対策を行っているがそれ以外は便秘薬を入居者に応じ服用する時間や量を把握している               |  |                   |
| 45 | (17) | ○入浴を楽しむことができる支援<br>一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々にそった支援をしている                             | 一人ひとりに声かけして希望を聞いている   | 日曜日を除き(希望があれば日曜でも可能)、いつでも入浴出来る。好みの湯加減や、一番風呂の希望、柚子湯等入浴が楽しめるように支援している。においがこもらないように換気に注意している。                     |                   |
| 46 |      | ○安眠や休息の支援<br>一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している   | 温度調節・おむつ交換の時間調節等できるだけ夜に熟睡してもらえるよう配慮している                               |  |                   |
| 47 |      | ○服薬支援<br>一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている  | 薬を個別に管理し、飲み忘れのないようチェックしている。くすりが変わったとき等はその結果を判断し、継続するか違う薬にするか医者と相談している |  |                   |
| 48 |      | ○役割、楽しみごとの支援<br>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている                             | 個別に役割・楽しみごと等対応している タバコも自由に吸えるよう管理している                                 |  |                   |
| 49 | (18) | ○日常的な外出支援<br>一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している | その日に希望があれば買い物 外出ができるようサポートしている 車で本人の希望で遠方まで出かけることもある(魚釣り・お見舞い)        | 利用者の希望により喫茶店やスーパーへ行き、食事や買い物を楽しんでいる。家族との外出ができるように連携をとったり、職員と一緒に自宅へ立ち寄るなどしている。天気の良い日は、車椅子の人も一緒に、近くの公園へ散歩に出かけている。 |                   |



グループホームおあしす養老

| 自己 | 外部   | 項目  | 自己評価   | 外部評価   |                   |
|----|------|---|--|--|-------------------|
|    |      |   | 実践状況   | 実践状況   | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 50 |      | ○お金の所持や使うことの支援<br>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している   | 天気の良い日等個別に外出の希望を聞き散歩等している。希望者は喫茶店・買い物等にも出かけている                                 |  |                   |
| 51 |      | ○電話や手紙の支援<br>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている  | 希望者は電話をかけれるようサポートしている  |  |                   |
| 52 | (19) | ○居心地のよい共用空間づくり<br>共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度等)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている | 天井を高くし、匂いがこもらないよう配慮し、窓はペアガラスを使用し、室温が快適に過ごせるようにしてある。照明は調光機能つきで夜でも過ごしやすいよう配慮している | 自宅の延長でありたいとの思いから、共有空間の飾りは控えめにし家庭的な雰囲気づくりをしている。全面ガラスへのぶつかり防止の為、網戸へ飾りを付けて安全の配慮をしている。利用者が折々の花を生けて、季節を感じてもらおう機会を作っている。 |                   |
| 53 |      | ○共用空間における一人ひとりの居場所づくり<br>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている   | 椅子をできるだけいろんなところに配置し座ってもらえるようにしている  |  |                   |
| 54 | (20) | ○居心地よく過ごせる居室の配慮<br>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている   | 私物を自由に居室に持ち込むことができるようにしてある   | 持込のテレビや、ぬいぐるみが置いてあり、テーブルの上には化粧品や、写真、生け花を飾っている。壁には、孫の写真が入った家族手作りの壁掛けや習字、俳句を貼るなど、居心地よい部屋となるように工夫している。                |                   |
| 55 |      | ○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり<br>建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している  | 自由に移動できるようバリアフリー、手すりを配置してある  |  |                   |